

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

合同会社福祉経営情報サービス

## ②事業者情報

名称：さくらさくみらい和光	種別：保育所
代表者氏名：飯野 知美	定員(利用人数)： 19 名
所在地：〒351-0101 埼玉県和光市白子2-23-7 第2サンライズビル TEL 048-450-3939	

## ③評価実施期間

令和元年9月6日（契約日）～令和2年3月13日（評価結果確定日）

## ④総評

## ◇特に評価の高い点

○小規模園の特長を生かし、一人ひとりの状況に合わせた無理のない計画と保育実践がされている

0歳児から2歳児までの小規模保育事業所であり、子ども一人ひとりの状況や様子を見て、一人ひとりに合った援助がしやすい環境がある。保育指導計画は年間、月間、週間の各計画ともに、子どもの年齢を考えた無理のない内容で作成されている。個別の計画は子どもたちが達成できる内容で個々の状況を細やかに把握して作成されている。生活の習慣を身につけるための援助なども一人ひとりの気持ちを大切に、見守りながら丁寧に進めている。すべてのクラスの様子がわかる環境の中で職員各自が全体を視野に入れ、園全体で子どもの育ちを見守る保育が実践できるのは小規模園の良さでもある。

○手づくり玩具を各クラスで作成する等で子どもの年齢や発達に合った環境づくりがされている

年齢に合った手作り玩具を作成している。指先の発達を促す玩具のほか、座って乗れる手作りの車は乗ってこぐことで足の発達につなげる事を考慮するなど、子どもの状況を踏まえ、発達を促す玩具を各クラスで考えており、よく工夫されている。作成する際にはどのような玩具が良いか職員間で話し合い、作成された玩具を紹介しあう機会も設けている。また、玩具だけでなく、環境について工夫すべきことや要改善点を園全体で話し合うことで、職員各自が子どもの興味や年齢、発達に合った必要な環境を学ぶ機会が確保されている。

○戸外遊びを積極的に取り入れ、園外に出て、地域の人達と触れ合い、交流する機会を設けている

天気が悪くなければお散歩や近隣の公園等に出かけている。異年齢児が合同でお散歩に行ったり、クラスごとに出かけており、目的に応じてさまざまな場所に行き、活発に体を動かすことができるよう活動に戸外遊びをふんだんに取り入れている。散歩中は近隣の方や道行く人とあいさつを交わす等、日常の中で地域の人との自然なふれあいがある。また、日頃良くしてもらったり、お世話になっている地域の人達には勤労感謝の日に手作りのはがきを制作し、子どもたちと一緒に届けに行くこと等もしており、積極的に地域に出て交流し、子どもの生活の幅を広げ、さまざまな事を体験する機会を設けている。

◇特にコメントを要する点

○地域との連携や専門性の還元などについては引き続き検討していくことが期待される

園の有する機能を地域に開放・提供してゆく事については意向はあるものの、実際の取り組みに至っていない。今後も検討を継続し、地域との連携の中で何らかの還元ができると良い。また、小規模保育事業所であるため、関係機関・団体等との連携を深めることや公益的な活動は単独では難しい面もあるものと推察された。地域や行政機関との連携の中で協働しておこなえる取組等があれば検討していくことが期待される。

○工夫を重ねている保育環境については、継続して一層高めていく取組も期待したい

ワンフロアの中で、保育室の環境構成を日々話し合っており、子どもの発達や成長等に応じて引き続き検討を重ねることで、一層子どもの状況に応じた環境に変わってゆく事が期待できる。保育環境のソフト面については、遊びの中で子ども同士の伝えあいの仲立ち等にも工夫があるとさらに良い。保育者の声かけや対応は子どもたちのお手本になるので、職員間で今以上に意識した取り組み等があると保育環境がさらに向上するものと推察された。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、和光園として初めて受審をいたしました。評価いただいているところもありますが、改善すべきところもありますので、今後そこに努めてまいりたいと思います。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり